

学校だより

児童数313名 実家庭数 241戸

第46号 ひたちなか市立勝倉小学校

令和6年3月12日（火）発行

〒312-0024 ひたちなか市勝倉3010

TEL 029-272-2546 FAX 029-273-1986



東日本大震災から13年

2011年3月11日午後2時46分。東日本大震災が発生。東北地方の三陸沖を震源とするマグニチュード9.0の巨大地震。宮城県北部では、震度7を記録。巨大地震の後に大津波が発生し、その津波で多くの人々の尊い命が奪われました。また、東京電力福島第一原子力発電所では、世界最悪レベルの事故も発生し、今までにない災害となりました。この地震により亡くなられた方、行方不明の方の数は、2万2,222人、避難されている方は、2万9,328人に上ります。こんなにも多くの方々が、地震前の生活に戻れずにいます。この東日本大震災から13年目にあたる昨日、学校では弔旗を掲げ、帰りの会の時間に放送の合図に合わせて、各クラスで黙祷を捧げました。

東日本大震災の後にも、大きな地震は日本各地で起き、1月1日には、最大震度7を記録する能登半島地震が発生し、甚大な被害をもたらしました。これからも、大きな地震は起きると予想されています。また、地震だけでなく、毎年のように台風や暴風雨による土砂崩れや大洪水などが起こっています。自然災害が起こったときに、一人一人がどのように行動したらよいかということをしかりと身に付けておくことが大切です。そのために、学校では避難訓練を行っていますが、地震などの災害は、いつ起こるか分かりません。家に一人でいるとき、学校から帰るときかも知れません。「天災は忘れた頃にやってくる」「備えあれば憂いなし」と言われます。震災を忘れることなく、日々の備えをしかりとして、自分で考えて行動し、自分の尊い命を守れるようになってほしいです。

2/28 表彰

2月28日（水）ロング昼休みの時間を使って、Meetで表彰を行いました。表彰者を紹介します。

【食に関する標語 優秀賞】（市学校給食会）

6年

【茨城県統計グラフコンクール 奨励賞】（県統計協会会長）

1年

【市の褒賞】（市教育委員会）

6年

【みんなにすすめたい一冊の本推進事業】県教育長賞

6年 （代表）

5年

4年



茨城県は、児童の読書意欲を高めるため、読書に積極的に取り組んだ児童を表彰し、家庭や地域の協力を得ながら、読書の楽しさや喜びを広げていくことを推進しています。小学生版「みんなにすすめたい一冊の本」（さくいん）等を活用して1年間に50冊の本を読んだ児童に県教育長が、3年間に300冊の本を読んだ児童に知事が賞状を授与しています。